

番 号	項 目	特 記 事 項
3	① 連炭口及び腐土 (3.2.2) (表3.2.1) 土 工 事	種別・A種 ○ B種・C種・D種
	② 腐敗養生土の 処理 (3.2.5)	○ 自由処分

4. 1. 試験都市及び試験地
(4.2.2)
2. 地盤調査工事
3. 地盤の観測試験
(4.2.4)

・ 試験都市 ・ 位置及び本数は図示による。
・ 最初の6ヶ月を目を以て試験地とする。

・ 試験地 (位置、形状及び箇所数) ・ 図示)

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷
試験の方法及び観測箇所の記載は、附設図面と試験仕様書による。

位置 図示 ・ 観測箇所 (観測箇所)
報告書 ・ 提出部数 2部 (K1)

試験方法 ・ 地盤調査 (20・30・45t 試験)
試験の方法及び報告書の記載は、附設図面と共通仕様書による。

位置 ・ 5 面所 監督職員と打合せによる
着手前試験、監督職員に報告
報告書 ・ 提出部数 2部

・ PC板
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
・ SC板
・ PC板
・ 上記以外の建築基準法に基づく杭
径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450
長さ ()^m
先頭形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型

施工方法
・ 打込み工法 (支持力)
・ 打撃工法
・ フロートリフト工機併用工法
(掘削係数 設計Q₁ m 掘削径 mm)

(4.3.4)	・セツトミノウ工法（圧入時傾斜）
(4.3.5)	・特定建築物の工事（建築基準法に属する埋込杭工とする。）
	（支持体図）
(4.3.7)	・ケーシング掘削 ・ プール掘削 ・ 無液接合型（工法： 掘削機、行つて行かれた）
(4.3.8)	・杭間の処理 杭土質については、仮置きし、既設した杭と土壌改良を行い基準値を越えない場合は撤去し、盛土に使用する。又基準値を超えた場合は、直接換填等として処置する。
6. 鋼材仕様表	
(4.4.2)	・鋼管杭 SSK400 SSK490
	・ H形鋼杭 SHK400 SHK490
(表4.4.2)	径 300 350 400 450

(4.3.4)	模造 () ^m
(4.4.4)	先頭形状、開放形
(4.4.4)	補強方法、補強パイプ
(4.3.3)	継手、JISB525 (鋼索ぐい)
	施工方法
	・打込み工法 (支持力)
	・打撃工法
	・フレキシブル工法 (掘削用土工法)
	・掘削床を設計した掘削径 (mm)
(4.3.4)	・セメントミルク工法 (支持材埋め)
(4.3.5)	・特選埋込材工法 (掘削部等に選ぶ「埋込材工法とする」)

(4.4.5)	(4.4.5)
6.場所打ちコンクリート杭工法	6.場所打ちコンクリート杭工法
(4.5.4)	(4.5.4)
(4.5.5)	(4.5.5)
(4.5.3)	(4.5.3)

(支持地盤)	・ 行わない
・ 杭頭の処理	・ 行わない
施工方法	
・ アースドリル工法	
・ リバース工法	
・ オールケーシング工法	
・ 鋼管コンクリート杭工法	
・ 掘削（・ 行う・ 行わない）	
鉄筋	
・ 鉄筋の種類は標準仕様書で規定による	

<p>⑦ 地盤工工事</p> <p>(例4.5.1)</p> <p>コンクリートの種類・A種・B種 設計基準強度(18)N/m² セメントの種類・高やセメントB種 風かぶり厚さ・ 支持地盤()</p>	<p>7.地盤改良</p> <p>・()工法 ・六価クロム溶出試験 ・室内配合試験 ・輻射照射試験</p>
<p>⑧ 砂及び砂利地盤</p> <p>⑨ 砂コンクリート地盤</p> <p>(4.6.4)</p> <p>⑩ 床下防護層</p> <p>(4.6.5)</p>	<p>厚さ(mm) ① 100 ・仕上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>厚さ(mm) ② 50 ・仕上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>③ ポリエチレンフィルム(厚さ④ 0.15mm以上) ・透湿量の量取機、養生袋へのめ込みは、250mm以上とする。</p>

試験の種別			
① 試験の種類 (5.2.1)	種別の記号	径	備考
鉄筋工事	○ S02B5A	○ D16以下	
	S02D95	・ D16以上	
	・ S0345		

・ 建築基準法第9条の規定に適合する認定を受けたもの

鋼目の形状、寸法			
鉄線の径 (mm)	・ 4 ・ 5 ・ 6		
寸法 (mm)	・ 100・100 ・ 150・150 ・		

<p>4. 圧搾された後の試験 (図7.4.9)</p> <p>5. 特殊な鉄線用糸 (図5.2.2)</p> <p>6. 粘着糊塗方法 (図例1, 1)</p> <p>7. 荷面 (図8.1.1)</p> <p>8. 炭素質孔補強 (図例表7.1)</p> <p>9. 繊維品と竹を用いたツツ (図7.3)</p>	<p>・ 織機式織手 工法 () 品質の鑑別方法 () 修正方法 ()</p> <p>・ 清浄織手</p>	<p>・ A形 ・ B形 柱間クサツト工法 (又は同等品)</p> <p>・ 荷面固定の形 ・ H形 ・ W形 ・ S形 ・ 丸形</p> <p>・ 配筋補筋 ・ H () 形 ・ W () 形 ・ H () 形</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p>	<p>試験の定規に必要なる (重ね選手の長さ)</p> <p>・ 建築師の現場に於てからず至早に水平耐力試験等を行い、公 共建築工機構標準仕様書 (建築工機構) 第5節第3.4條手 及び定規の規定による定規長で満足することを確認した。 (重ね選手の長さ: 荷重: 表5.3.3に従う)</p> <p>・ 建築師の現場に於ては、荷重試験を行い、建築基準法施行令 第73条の規定に於ては荷重試験値を示すこと、(重ね選手の長さ: 40t 以上、かつ荷重: 表5.3.3を満足する長さ)</p>
--	--	---	---

6	コナリートの種類 (6.1.3)	● 普通コナリート	・ 軽量コナリート
7	① 普通コナリートの強度、スランプ (6.1.4)	設計基準強度 F_c	適用箇所
8	● 21 (N/mm ²)	基礎・躯体	● 16
9	● 16 (N/mm ²)	路コナリート	
10	・		

工	②	シヤニミナズト	種別	○類・類
事		コンナリートの		
		種別		(6.1.5)
	③	コンナリート		
		の仕上り		(2.6.2.5)
	④	セメント		
		(6.3.2)		
		(表6.3.1)		
		単位面積の測定		
	⑤	骨材		
		(6.3.3)		

種別

○類・類

合板を板を用いる場合の打放し仕上りの種別

・ A種 ・ B種 ・ C種

種別

○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種

・ 行方

○ 行わない

アルカリシリカ反応性による区分

・ A(コンクリート中のアルカリ総量を抑制)

⑥型枠
(6.9.3)

⑦コンクリート
強度試験
(6.10.4)

8 経直コンクリート
種別・1種・2種

材料

○複合板(厚さ○12・)

平成6年度高専学生機械強度試験に使用する

A (安全と認められる材料を使用)
なる、Aに規制できない場合は、その試験は、施工費
手続、工事中1回/6ヶ月かつ底地が変わった場合に信頼できる
試験機で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会い
のもと、試験を行う者が、生コン工場のスロウードから試
料を採取して試験を行うこと。

(6.11.1) (後6.11.1)	適用箇所 ()
②無垢コンクリート (6.14.1)	適用箇所 構造仕様欄6.14.1による 上記以外の適用箇所 () 設計基準強度 18 (N/mm ²) (N/mm ²) スラング 15cm 18cm

7	技術工事	1. 施工管理技術者 (7.1.4)	適用する
6	検査工	2. 製作工場 (7.1.3)	建設基準法79条の6第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本技術評価センター又は「全国建設工業協会の「検査製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
5	材料	3. 鋼材 (7.2.1)	・ 上記に定める下記グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場は同等以上の能力のある工場 ・ R ・ H ・ S
4	高力ボルト	4. 高力ボルト (7.2.2)	・ 鋼材 ・ SS400 ・ S550K ・ S490C ・ S490C ・ 建設基準法に基づき指定及び認定を受けたもの ・ JIS規格力ボルト2種（F07） ・ 液状炭素焼き高力ボルト（建設基準法に基づき指定及び認定を受けたもの）1種（F8相当）

⑦ プラッカー・ボルト (7.2, 4/7, 10.3) (改訂 10.1)	材質 構造用 S45C 用途 建方用 S45C ・ A種 B種 C種 ・ 柱底均しモルタルの工事・埋み ・ A種 50mm B種 50mm
--	---

6. 消液部の形状
(7.6.4)

開水の形状
「開水として、国土交通省大臣官庁告示第40号「建築設計検定基準」による。

7. 消液部の試験
(7.6.11)

試験の種類
超高速消液試験・

消液区分	AOI (%)	検定水準	備考
現場消液	・ 2.5		計測対象生産品取付検査
工場消液	・ 2.5	6	
	4.0		

8. 耐火止め塗装	(16. 3. 3)	鉄骨等耐火止め塗装の工法 1 回目 製作中の耐火立役 2 回目 工務現場において壁・下地方及び接合完了後
9. 耐火仕置	(7. 8. 3)	塗料の種類 耐火仕置編 9. 3. 2 による
10. 要約めづき	(7. 12. 3)	種別 ・ 土・盛りモルタル塗り・ 耐火材吹付け・ 耐火板張り ・ 耐火材吹付け ・ 所要仕様 ・ (建築基準法の規定に基づく指定又は認定を受けた物)
(14. 2. 3)	種別	・ 種別

[illegible]